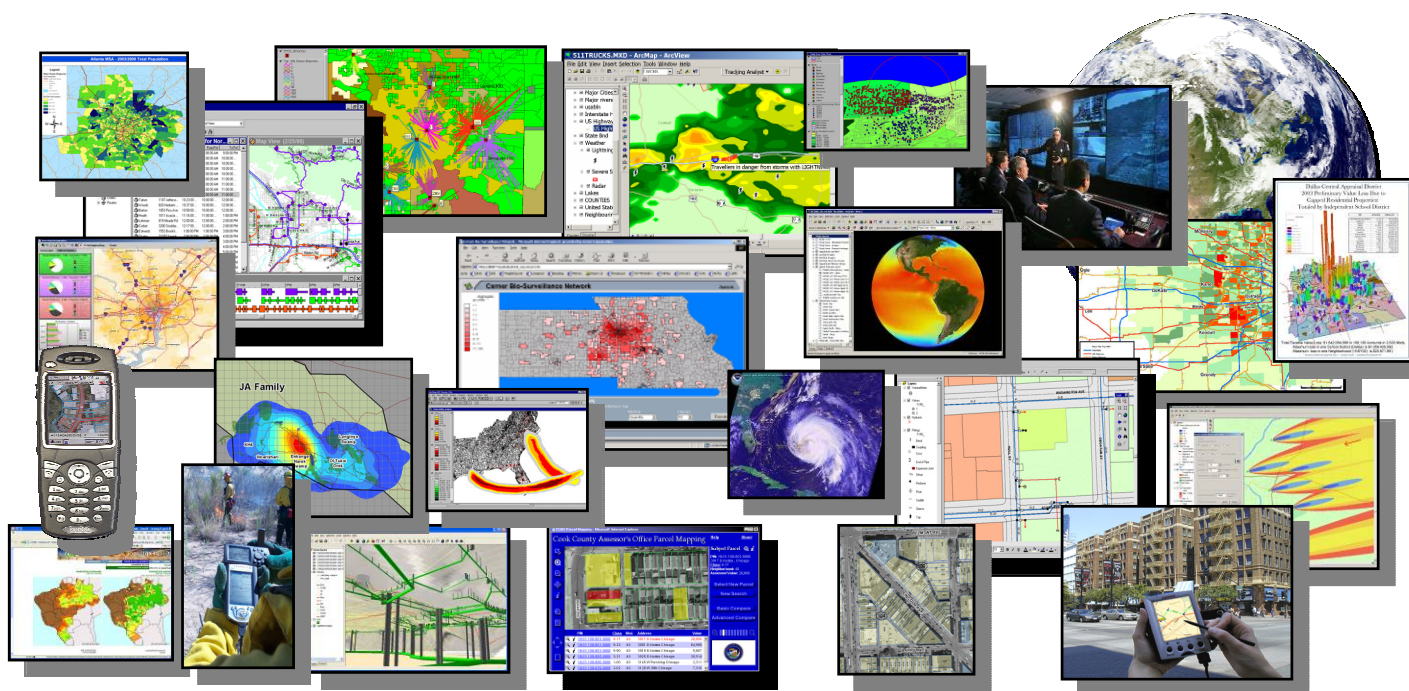


Breath GIS

株式会社中央グループ GIS事業部

- GIS
- リモートセンシング
- 写真撮影(衛星・航空・地上)・画像処理
- システム開発・コンサルティング
- データ作成・住宅明細図データ販売
- 製品販売



株式会社中央グループ
GIS事業部

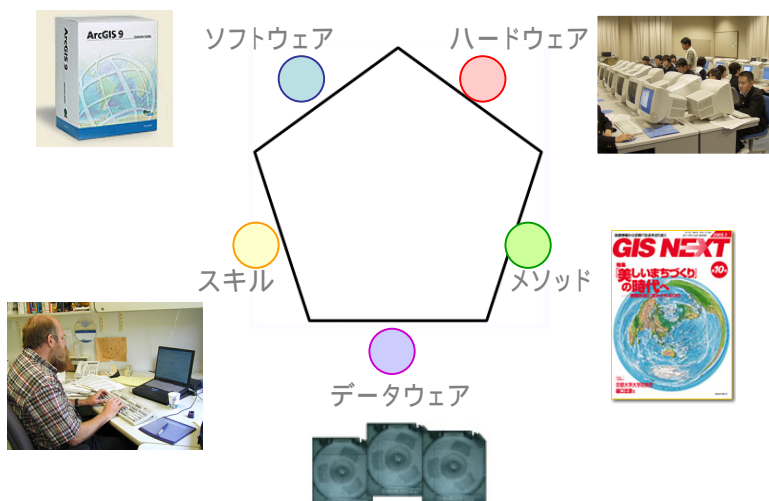
〒950-0954 新潟県新潟市中央区美咲町1-4-15 TEL025-282-2600 FAX025-285-6699
E-mail : gis_office@breath.co.jp URL : http://www.breath.co.jp

私たちは、空間情報に関するポータルからバックヤード製品までの販売、コンサルティング、設計、開発まで、次世代空間構築のため、情報化の仕組みをお手伝いいたします。是非、お声をかけて下さい。

GIS

GISは私たちの生活基盤として重要な役割を果たしているだけでなく、各種の戦略立案にも有効なツールです。このGISの定義はESRI,1990,Understanding GIS (GIS-Textbook)によると、地理情報を効率的に取得、保存、更新、加工、解析、表示するためのハードウェア、ソフトウェア、地理データ、そして人材の組織化された強力な問題解決ツールであると位置づけられています。

GISを実践するために必要な機能は、5つの要素に分類され、弊社では全ての機能に対して支援が可能です。



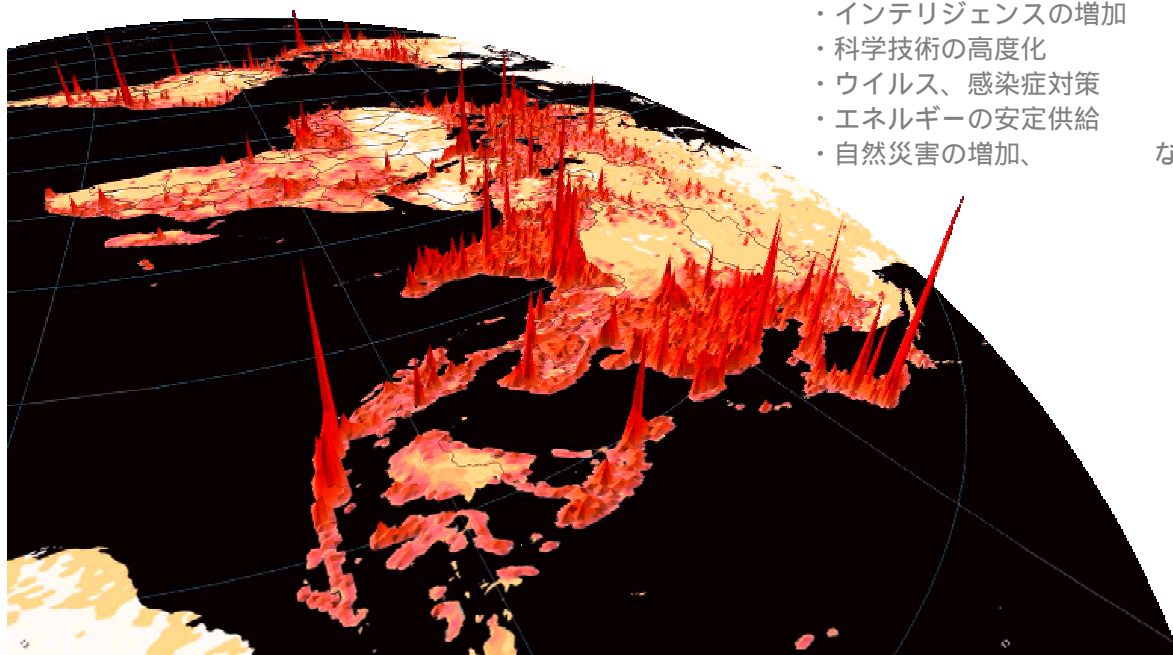
我々の住む地球は、

... 問題の複雑化、多様化、影響範囲の拡大・・・など

対応が求められています。

GISは様々な変化・課題に対して、対応できるツールとして必要とされています。

- ・人口増加、少子高齢化
 - ・都市化、犯罪・治安の悪化
 - ・問題のグローバル化
 - ・地場産業の活性化、地域経済発展
 - ・環境変化、自然破壊
 - ・インテリジェンスの増加
 - ・科学技術の高度化
 - ・ウイルス、感染症対策
 - ・エネルギーの安定供給
 - ・自然災害の増加、
- など。

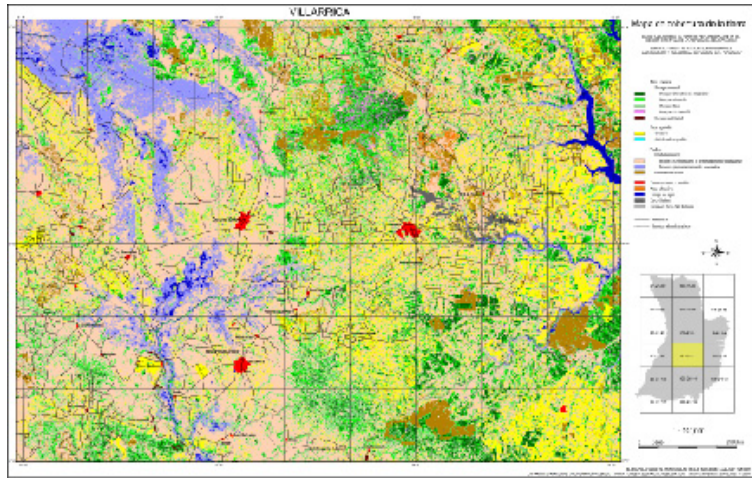


リモートセンシング

弊社では、各種の人工衛星データを使用してリモートセンシング関連の業務を実施しています。様々な地域において資源・環境に関わる調査や研究、技術開発をおこなっています。

森林の樹冠密度解析

- 熱帯林復旧への衛星利用
- 造林計画に伴う土地被覆分類処理
- 洪水による被害評価システムの開発
- 風倒木の2次災害の分析
- 塩害と農作物被害の調査・解析
- 水害による農作物被害の調査・解析
- 水田分布と洪水被害の調査・解析
- 氷河湖の分布解析
- 河川の計測

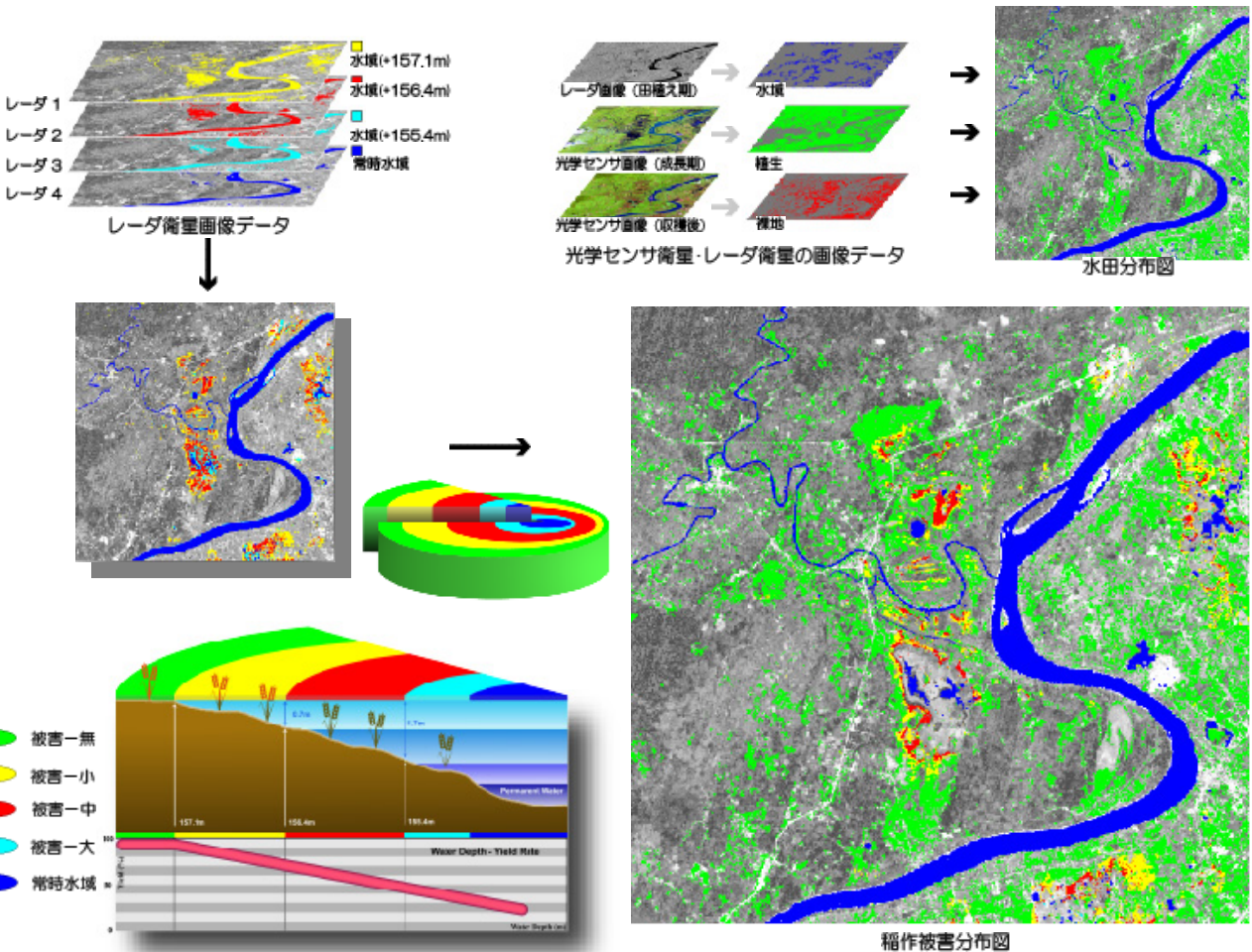


< 造林計画に伴う土地被覆分類図の作成 >

造林計画の基盤資料として、衛星画像データを解析し土地被覆分類図を作成しました。1 / 25万の縮尺で対象地域を16分割した図面化を作成し、GISに分類結果を搭載しました。

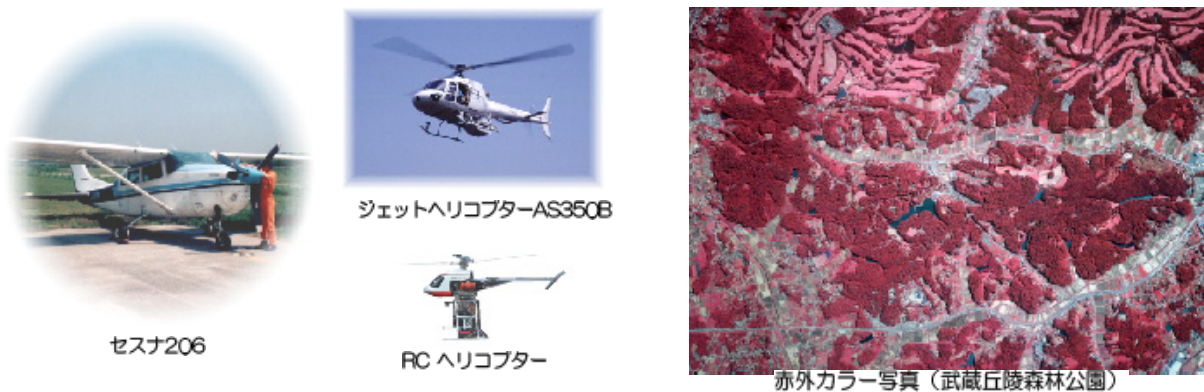
< 洪水による稲作被害の調査・解析 >

レーダ衛星と光学センサ衛星の多時期の画像データを使用し、ラオスの洪水による稲作被害状況を調査・解析しました。稲作地域の抽出解析と洪水による農地の水深解析および水深別被害モデルの合成により、被害状況分布を把握しています。



写真撮影(衛星・航空・地上)・画像処理

セスナ206、ジェットヘリコプターAS350Bによる航空写真撮影を実施しています。公共写真測量、オルソフォト制作用撮影をはじめ、災害状況や環境アセスメント関連撮影、植生調査用の赤外カラー写真撮影にも随時対応しています。毎日24時間体制の撮影に対応できるので、緊急時の撮影も可能です。また、ラジコンヘリコプターにカメラを搭載した特殊な航空写真撮影も実施しています。遺跡の発掘現場、高層マンションからの景観、崖等の急斜面、災害状況等、実機の撮影では困難な場所や大縮尺の撮影に適しています。撮影した航空写真は、フィルム現像後に高精度のスキャン入力を実施し、デジタル画像データの納品が可能です。



撮影した写真は、デジタル画像化して多様な解析が可能となります。弊社では、航空写真のデジタルオルソ画像の作成、モザイク処理をおこなっています。



航空写真のデジタルモザイク画像による河川の経年変化

処理した画像に地図情報を記載するなど装飾処理を施し、プリント・パネルの製作も実施しています。デジタル処理を施した画像から災害や環境情報の抽出および経年変化を解析し、防災・環境アセスメント等の基盤情報として提供しています。

< 航空写真による経年変化解析 >
河川を撮影した複数の航空写真を使用してモザイク処理を実施しました。また、多時期の航空写真を使用して同様の処理を実施し、それらを比較することで河川の経年変化を把握することができます。

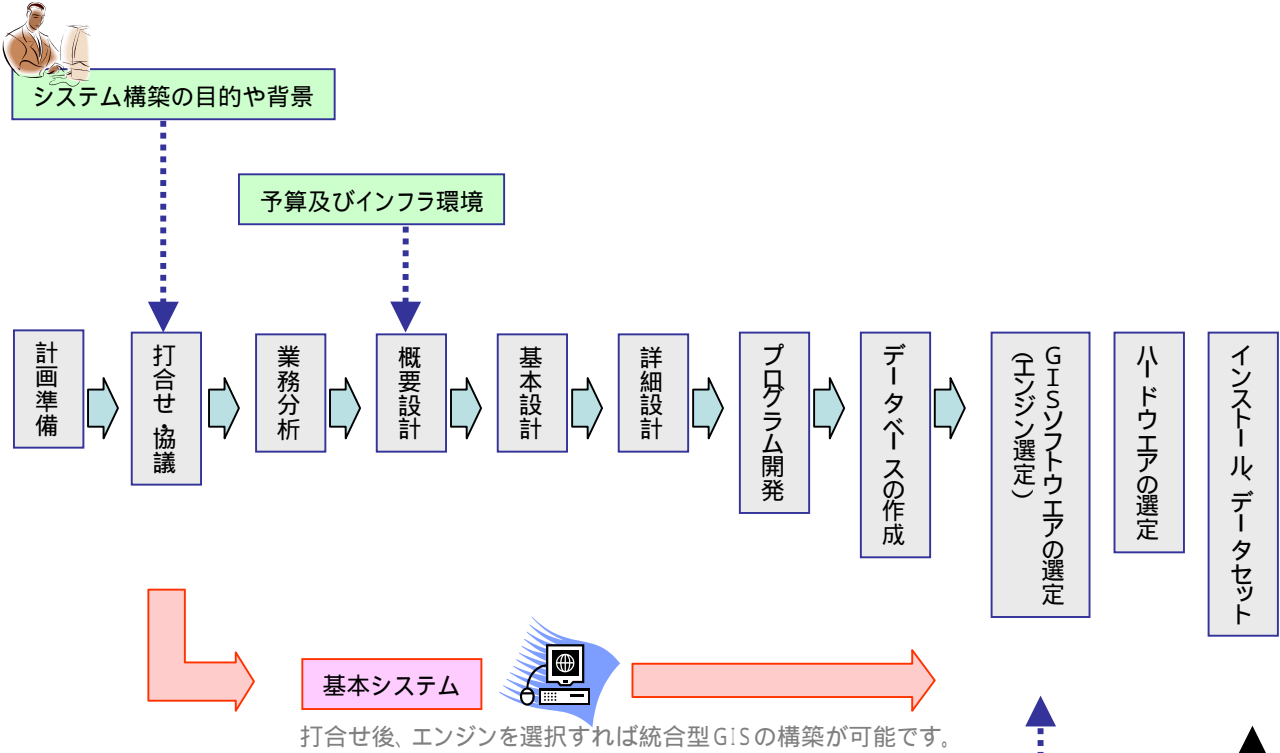


航空写真のデジタルモザイク処理

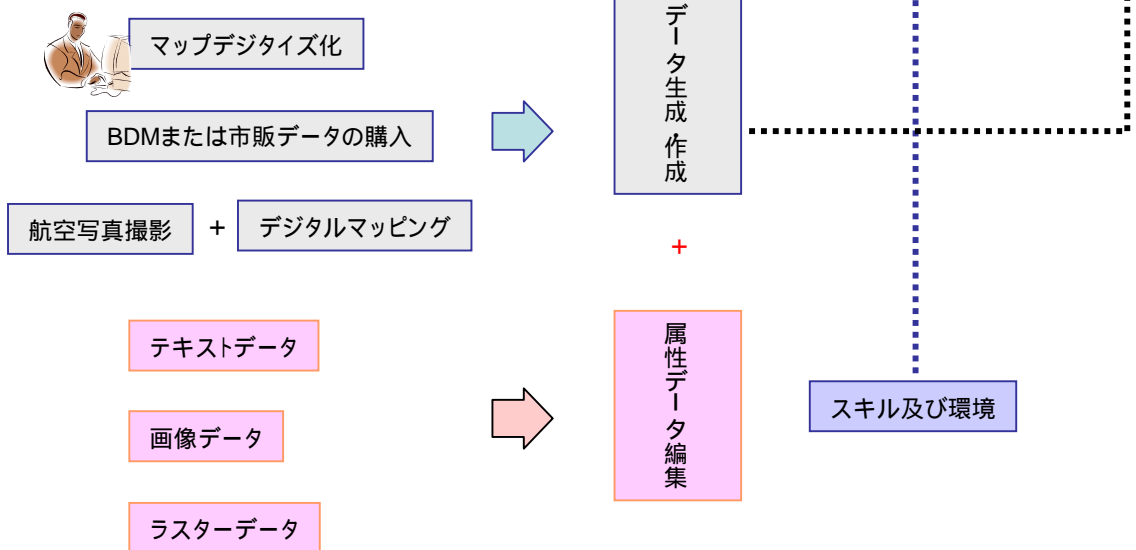
システム開発・コンサルティング

システム構築をする上で、必要な概念は、スケーラビリティ、インターオペラビリティ、デファクトスタンダード & デジュールスタンダード、テクノロジートレンド、ビジュアライゼーション、アカウントビリティという視点を持つことが重要です。弊社は専門知識を持ったコンサルタントが的確なアドバイスを致します。

システム構築の業務フロー

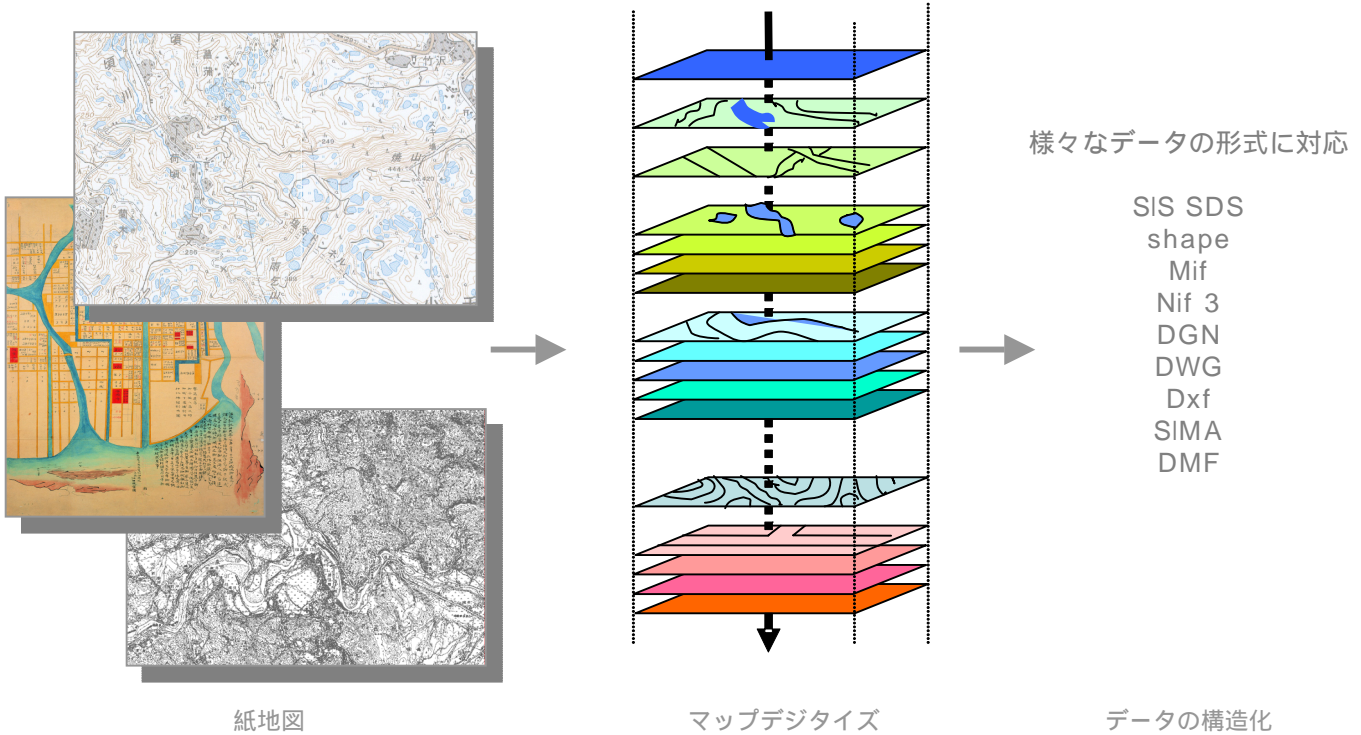


データ作成業務フロー

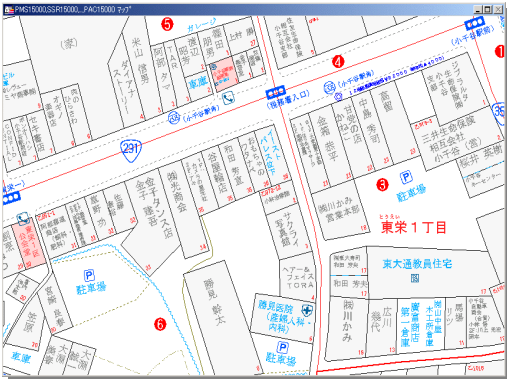


データ作製・コンバート・住宅明細図データ販売

弊社では、あらゆるデータ形式のデータを作成することができます。



弊社では、刊広社との業務提携により明細図データ（BDM）を販売しております。



詳細レイヤー

画面等はイメージです。内容は変更することがあります。
(上記イメージは、MapInfo Pro Viewer 6.5にて作成致しました。)

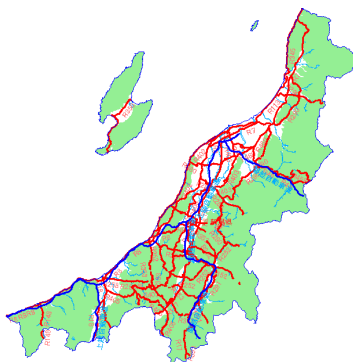
<広域>		<詳細>	
1 広域鉄道線	16 仮街区通称町界	37 建物記号	
2 広域高速道路	17 道路筋	38 地物記号	
3 広域国道	18 道路沿	39 交通記号	
4 広域県道	19 鉄道筋	40 住所名称	
5 広域地方道	20 鉄道線	41 住所地番	
6 広域一般道	21 建物筋	42 行政機関名称	
7 広域観光名称	22 等高線	43 目録企業名称	
8 広域IC/PA	23 地形	44 建物名称	
9 広域駅	24 水線	45 企業名称	
10 広域水部名称	25 都道府県界	46 表札名称	
11 広域山頂	26 市区町村界	47 地形名称	
12 広域都道府県界	27 大字界	48 鉄道名称	
13 広域市区町村界	28 丁目界	49 交通情報	
14 広域水部	29 街区界	50 公園界	
15 広域山部	30 行政区界	51 地籍筋	
	31 目録建物	52 都市計画区域	
	32 建物敷地	53 地価記号	
	33 地下街	54 地籍記号	
	34 水部	55 管轄公園番号	
	35 地図図郭	56 地価情報	
	36 住所記号	57 地籍地番	

57枚のレイヤー構成



広域レイヤー

画面等はイメージです。内容は変更することがあります。
(上記イメージは、MapInfo Pro Viewer 6.5にて作成致しました。)



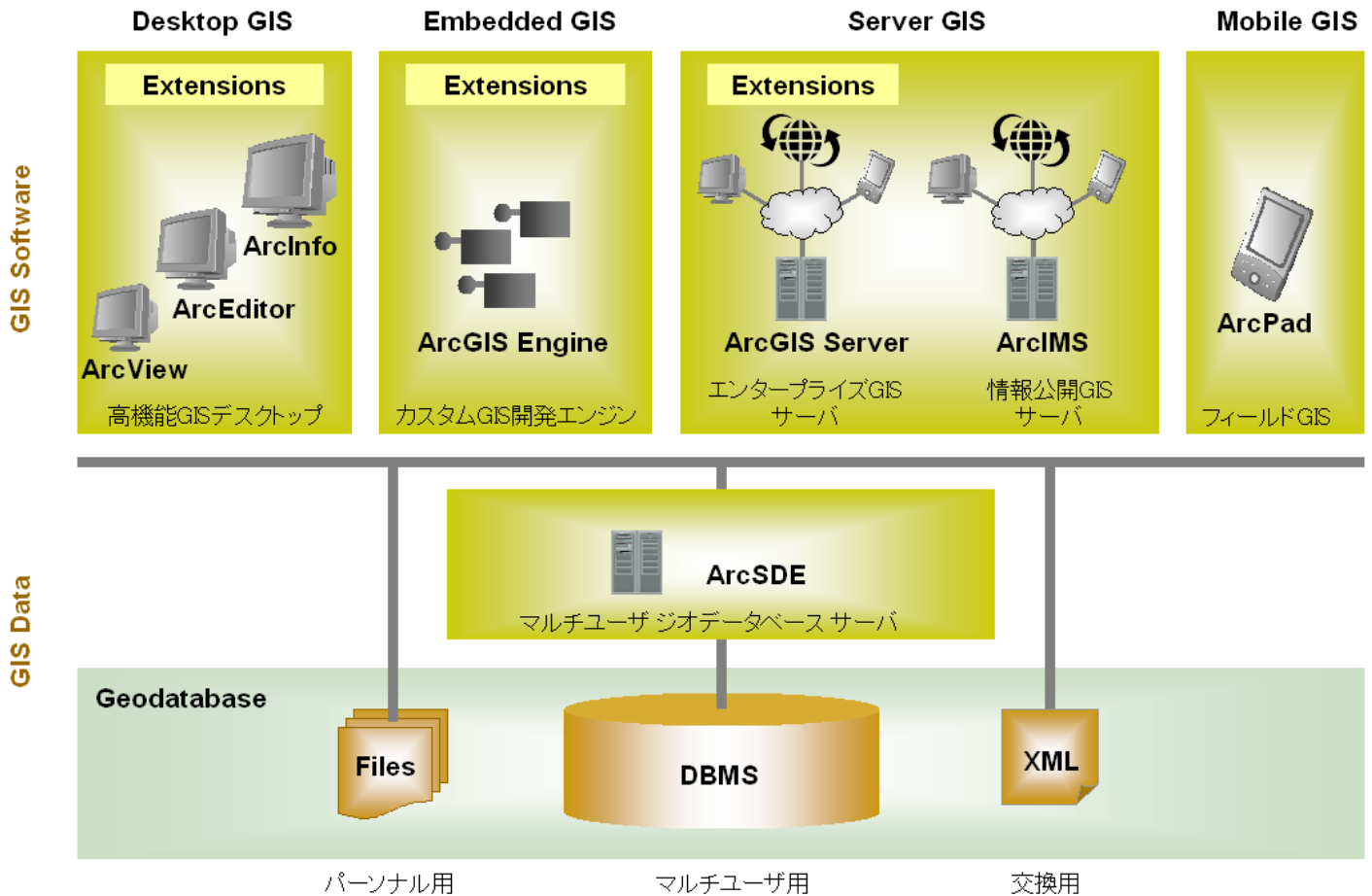
提供ファイル形式

- ArcGIS (SHP)
- MapInfo (TAB, MIF)
- AutoCAD (DWG, DXF)
- MicroStation (DGN)

コンバート料金が別途必要になります。
ファイルサイズにより提供できない場合があります。
日本測地系での対応も承ります。

製品販売

パーソナルからエンタープライズまで、様々な組織のニーズにジャストフィットするGISを構築するためのESRI社のGISソフトウェア製品ファミリー



各種講習会



ユーザ様専用サポートサイト



日本語マニュアル (40冊以上)

製品については、さまざまな製品を扱っておりますので、なんなりとご要望をご依頼下さい

持続可能な地球の未来と人類の調和をめざして



Think globally Act locally !

株式会社中央グループ
GIS事業部

(旧・株式会社プレス)

gis_office@breath.co.jp

TEL 025-282-2600